

# ナビアスタイル門扉 type-C,P 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

## 注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

### ◎設置場所・位置について



- 外開きタイプは、開閉時に扉が公道（道路面）などへ飛び出さない位置に設置してください。

### ◎施工上の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますので使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結晶は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。

- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、基準通りに行ってください。また、現場の状況（軟弱地盤など）に応じて基礎の大きさを考慮してください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

## 注意

- 通常使用しない場合は、必ず施錠し、落とし棒を落してください。（※突風などで扉が開き、人や壁に当たるなど事故や破損の原因となります。）
- 扉を180°以上開かないでください。
- 開閉操作の際は、周囲に人や物がいないことを必ず確認してください。また、開閉操作はゆっくり行ってください。（※扉に人がはさまれるなど事故の原因となります。特にお子様には注意してください。また、急激な操作は思わぬ事故につながります。）
- 開閉時に、手足や衣服などを挟まないように注意してください。
- 扉に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかたりしないでください。（※扉の転落・脱落による事故の原因となります）

## もくじ

梱包明細.....	2	4. 吊り込み後の作業.....	10
納まり図.....	2	4-1 錠の取付け.....	10
開きの確認とヒンジの組替え.....	3	4-2 戸当りの取付け.....	10
1. 門柱部品の取付け.....	4	4-3 落とし棒の取付け.....	11
2. 門柱の設置.....	5	施工工事店様、販売店様へのお願い.....	12
3. 門扉の吊り込み.....	6		
3-1 ヒジツボと持ち送りの向きの確認.....	6		
3-2 ヒジツボの取付け.....	6		
3-3 門扉の吊り込み.....	7		
3-4 ヒンジの調整.....	8		
3-5 ヒンジカバーの取付け.....	9		

# 梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無い確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品(ビス含)以外は使用しないでください。

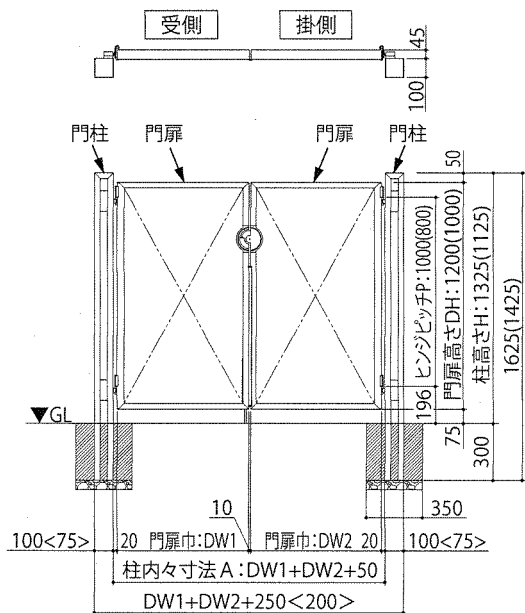
梱包名称		梱包内容	
門扉	標準扉	H10/12 W04/06/07/08	門扉本体 (1)
	子扉		子扉 (1)
門柱	標準門柱	H10/12	門柱 (左/右各1)・ヒンジセット (1)
	化粧柱	H10/12	門柱 (左/右各1)・ヒンジセット (1)
戸当り	戸当り	H10/12	戸当りキャップ (左/右各1)・φ4×13ナベセルフドリリングビス (4) φ4×13皿セルフドリリングビス (1)・φ4×16トラスタッピン3種 (1)
落とし棒	落とし棒セット		落とし棒 (1)・落とし棒ガイドA (1)・落とし棒ガイドB (2)・ガイド取付ブラケット (1) 六角レンチ (1)

# 納まり図

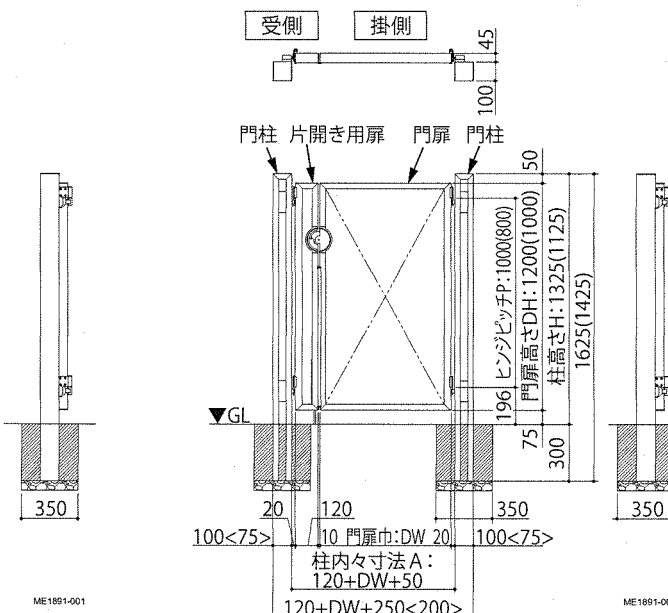
●施工前に確認してください。

※本図は、両開き・右勝手・内開きの外観図を示しています。  
 ※本図は、化粧柱納まり・DH1200・DW700の場合を示しています。  
 ※ ( ) 内寸法は、DH1000の場合を示しています。  
 ※ < > 内寸法は、75角門柱納まりの場合を示しています。

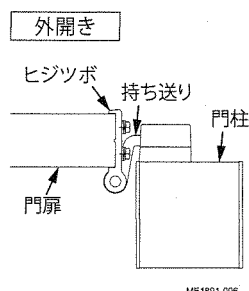
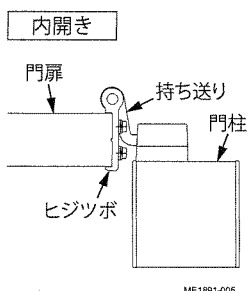
## 両開き・親子開き



## 片開き



## ヒンジ部詳細図



# 開きの確認とヒンジの組替え

●施工前に必ず確認してください。

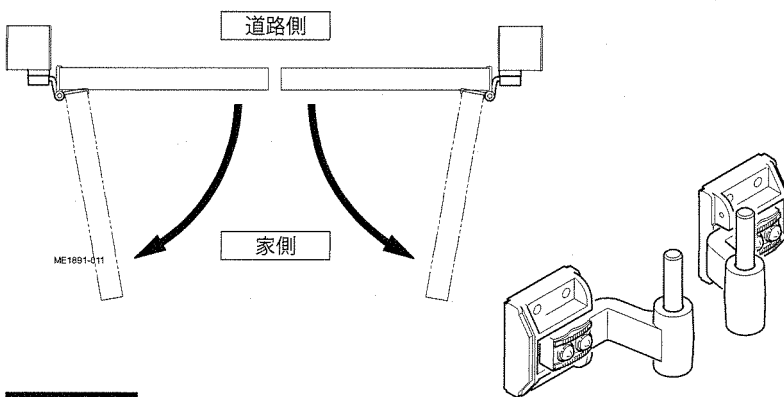
## 開きの確認

施工前に、門扉の開き勝手とヒンジの向きを確認してください。

※当社のヒンジは現場で組替えを行うだけで、「内開き」・「外開き」・「内外開き」に対応できます。

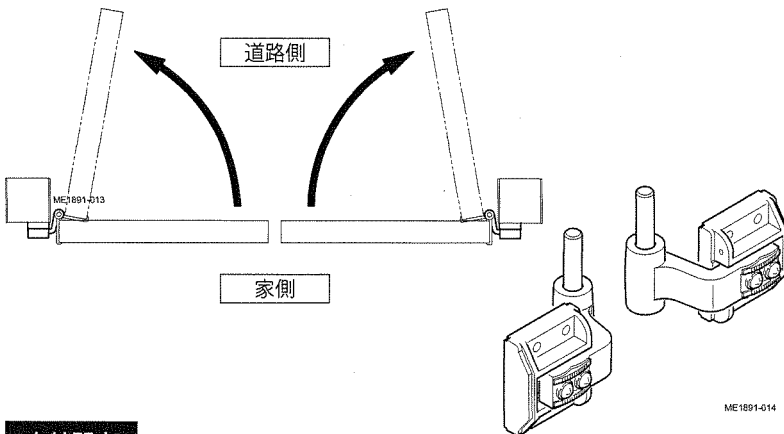
### 内開き

●梱包セット状態のまま取付けてください。



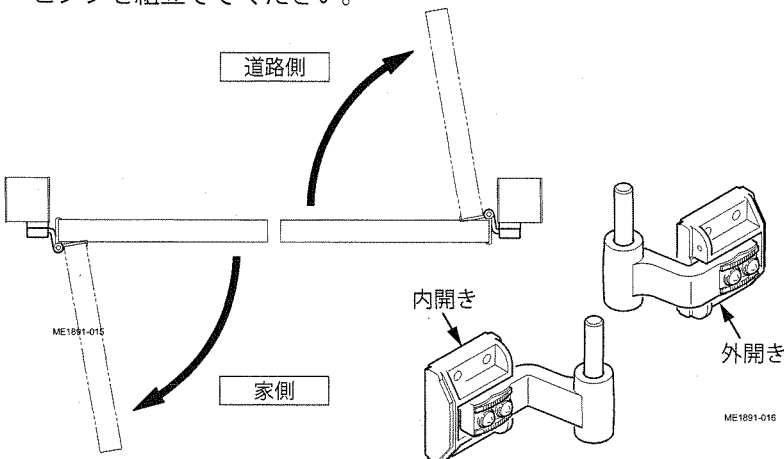
### 外開き

●「ヒンジの組替え方法」を参照して、ヒンジを組立ててください。



### 内外開き

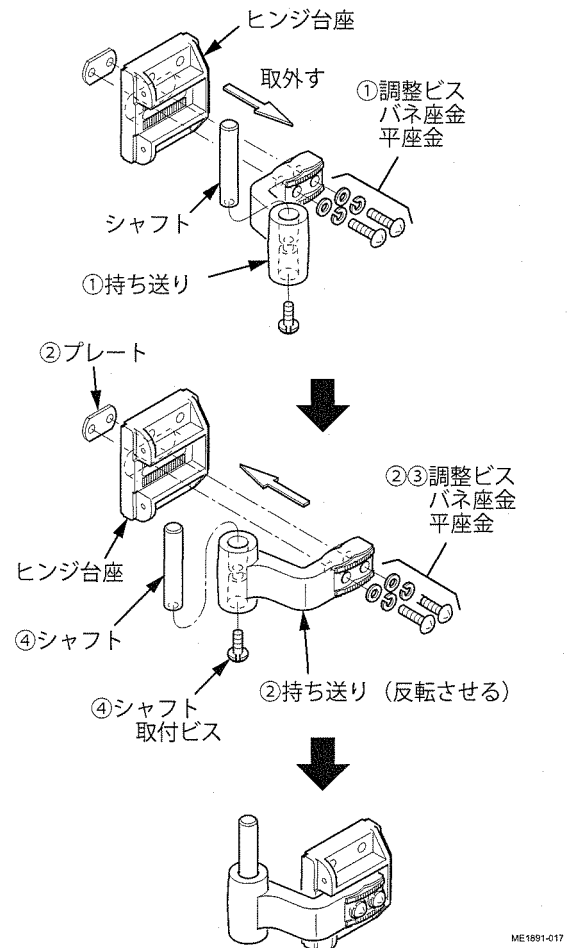
●「ヒンジの組替え方法」を参照して、外開き扉側のヒンジを組立ててください。



## ヒンジの組替え方法

※本図は内観右側のヒンジを、外開きにする場合を示しています。

- ①調整ビスを取外し、持ち送りをヒンジ台座から取外してください。
- ②持ち送りを反転し、調整ビスとプレートにて、ヒンジ台座に取付けてください。
- ③調整ビスで持ち送りの位置を調整してください。
- ④シャフトを取付けてください。



電気ドライバーなどで、ボルト・ビスを無理に締付けないでください。  
※破損の原因となります。



組替え時、ビス・座金類を無くさないように注意してください。

# 1

## 門柱部品の取付け



門柱には右用・左用があります。取付孔の位置が門扉側となるようにしてください。

① ヒンジを門柱に取付けてください。



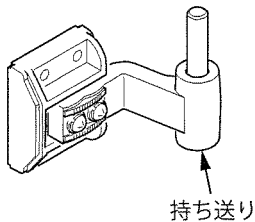
持ち送りの向きに注意して取付けてください。

※必要に応じて、ヒンジを組替えてください。  
(前ページ参照)

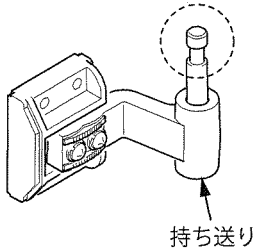


ヒンジには上部用と下部用があります。上下を確認して取付けてください。

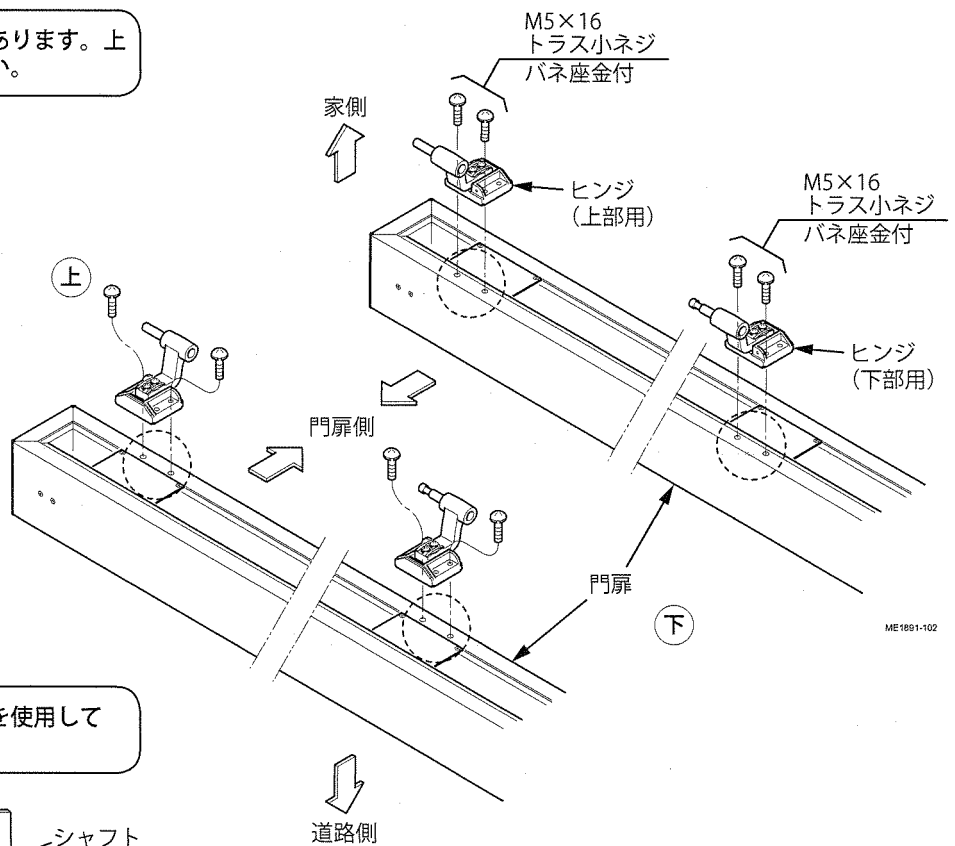
### ● 上部用



### ● 下部用



ME1891-104

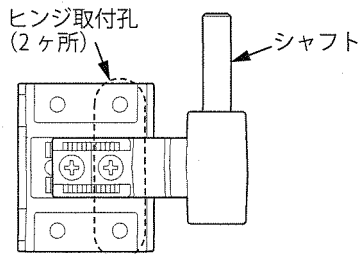


ME1891-102



ヒンジはシャフト側の取付孔を使用して取付けてください。

### ● 取付孔詳細図



ME1891-103

# 2

## 門柱の設置

- 「納まり図」で寸法を確認してください。
- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 本図は、内開きの内観図を示しています。

① 「納まり図」で柱の位置やレベルを確認し、柱を設置してください。



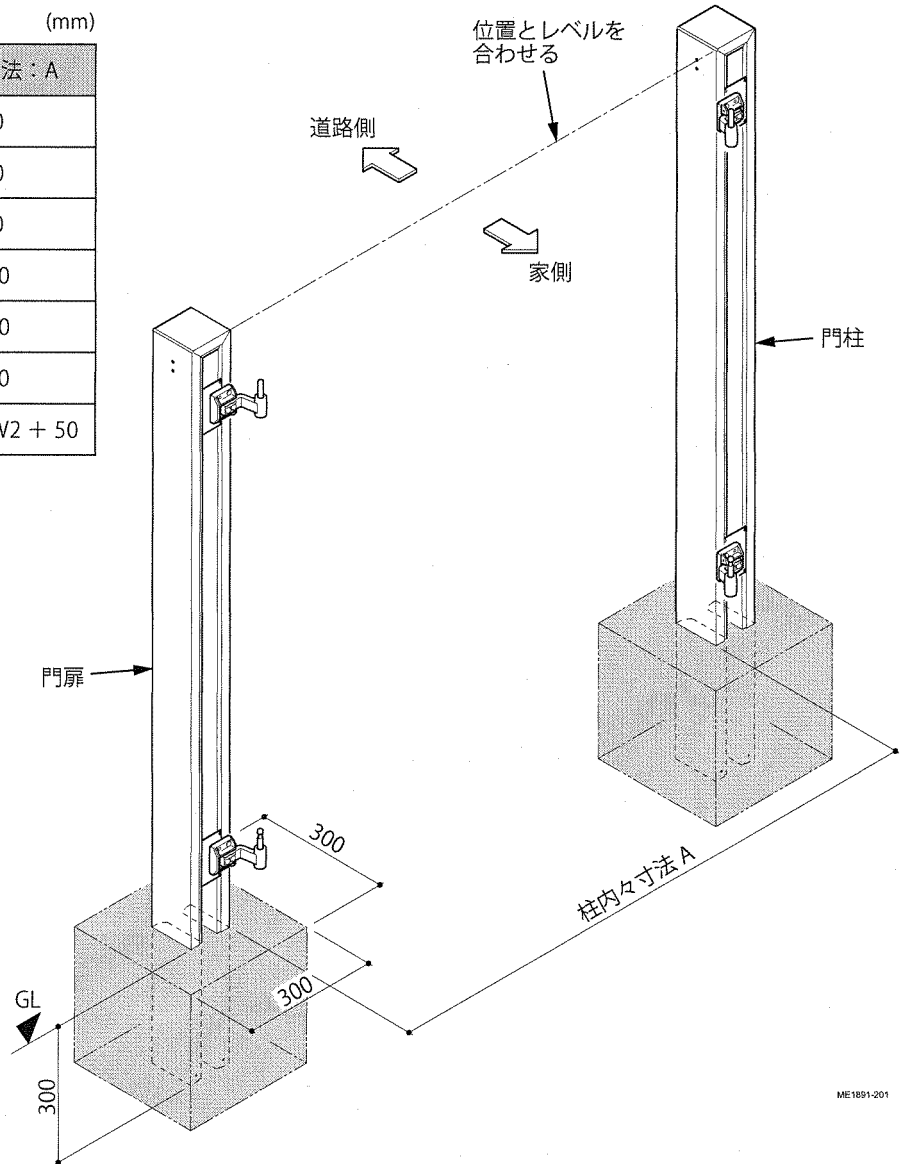
柱の位置とレベルを正確に合わせてください。

※門扉が吊り込めなかったり、施錠不良の原因となります。

### ● A 寸法表

(mm)

門扉納まり	扉の組合せ	柱内々寸法：A
片開き	DW120+600	770
	DW120+700	870
	DW120+800	970
両開き	DW600+600	1250
	DW700+700	1450
	DW800+800	1650
親子開き	DW1 + DW2	DW1 + DW2 + 50



ME1891-201

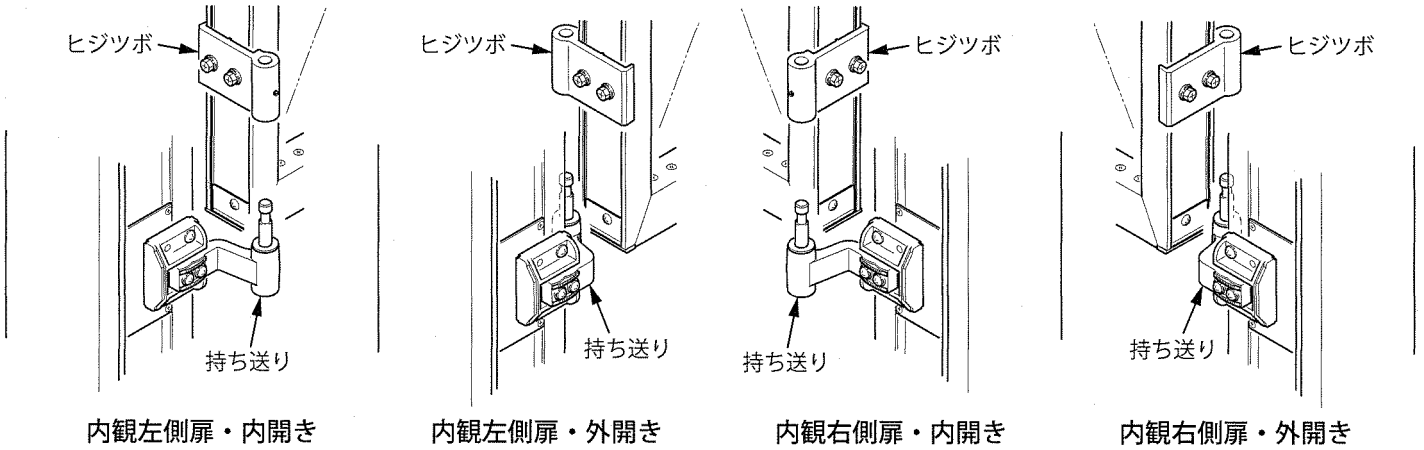
# 3

## 門扉の吊り込み

### 3-1 ヒジツボと持ち送りの向きの確認

① 3ページの「開きの確認とヒンジの組替え」を参照して、ヒジツボと持ち送りの向きを確認してください。

ME1891-301

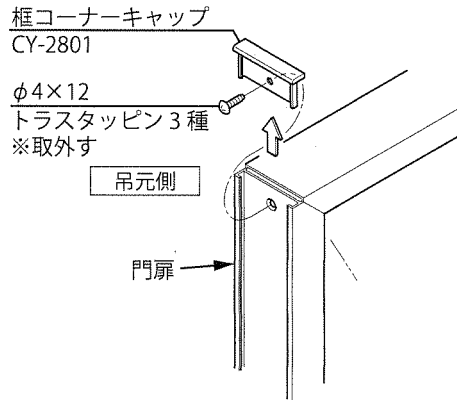


### 3-2 ヒジツボの取付け

① 門扉上部の枠コーナーキャップを取外してください。



取外したキャップは、後で使用しますので無くさないでください。



ME1891-302

② ヒジツボのボルトを⊕ドライバーで少し緩めてください。



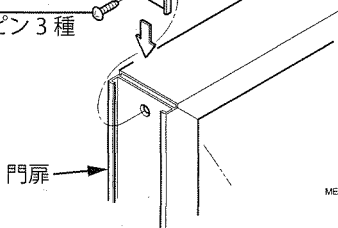
- ヒジツボは工場出荷時に仮組みされています。
- 下部用ヒジツボには抜止めネジが付いています。
- 上部用・下部用を間違えないようにしてください。

③ ヒジツボを門扉縦枠の溝に挿入し、右図の位置に仮止めしてください。

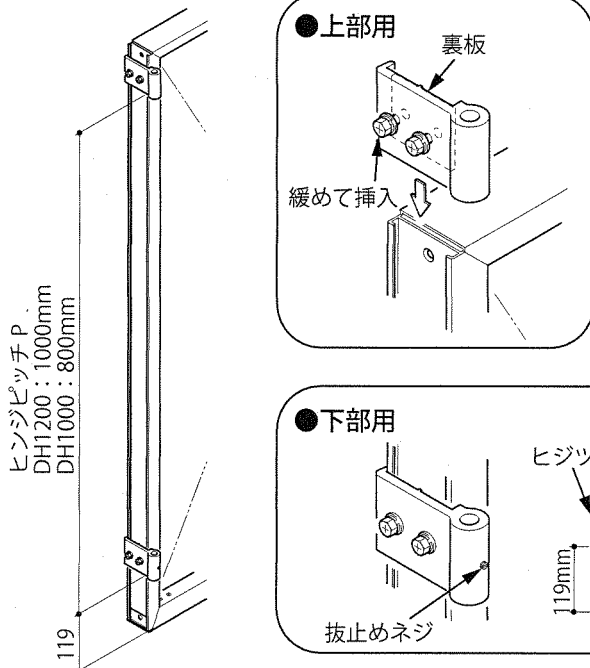
④ 枠コーナーキャップを、再度門扉に取付けてください。

枠コーナーキャップ  
CY-2801

φ4×12  
トラスタッピン3種



ME1891-304



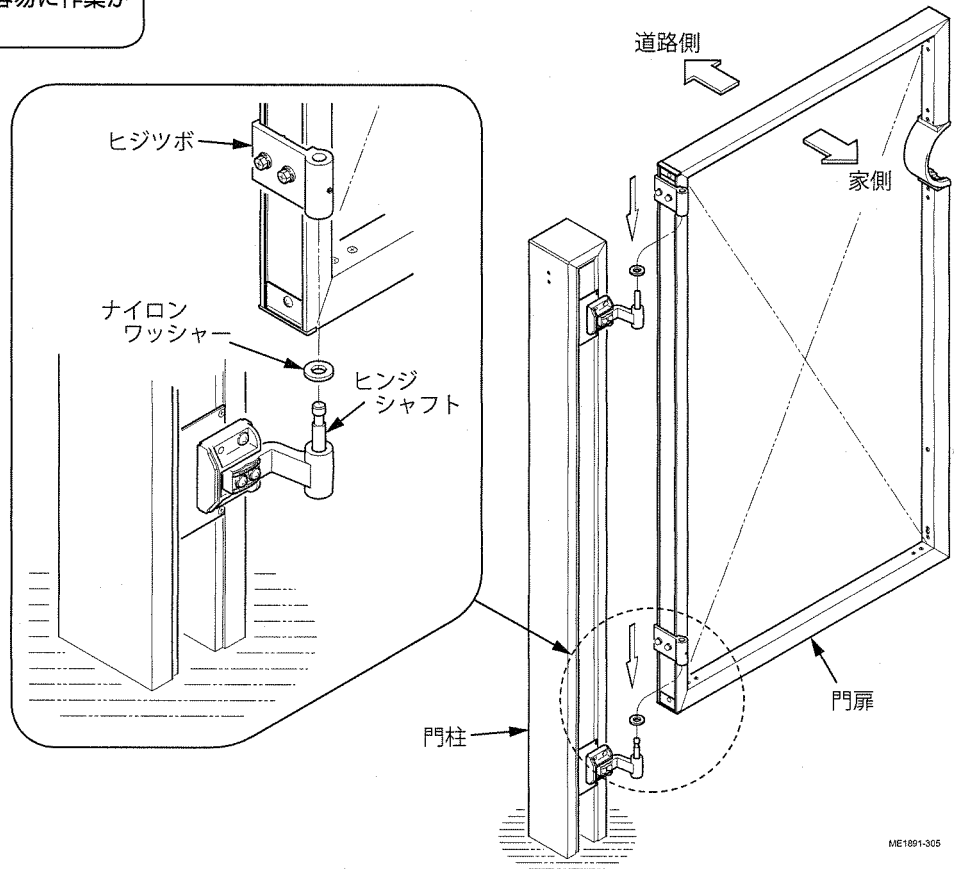
ME1891-303

3-3 門扉の吊り込み

①ヒジツボをヒンジシャフトに挿入してください。



下部のヒンジシャフトが長くなっている  
ので、下部を先に挿入すると、容易に作業が  
できます。

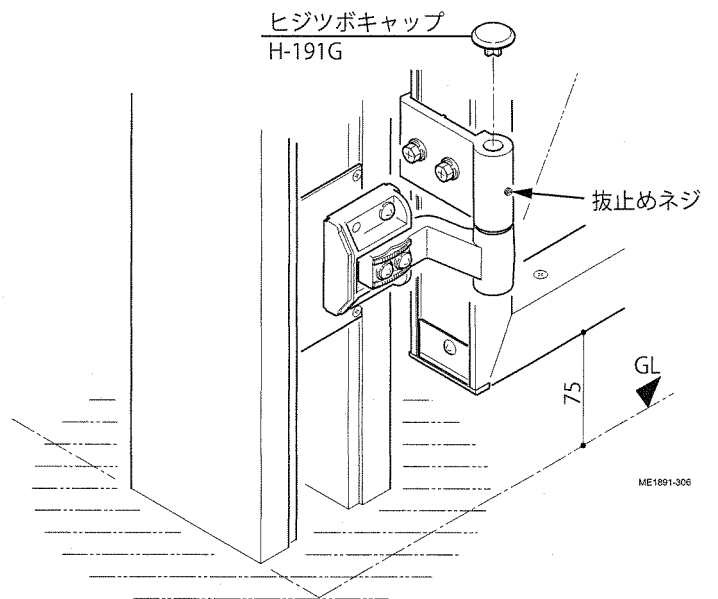


②門扉下部と GL が 75mm であることを確認し、  
抜止めネジを締付けてください。



門扉の吊り込み後、各基準寸法および門  
扉のレベルがそろっているか確認・調整  
してください。

③ヒジツボにヒジツボキャップを取付けてくださ  
い。



### 3-4 ヒンジの調整



作業前に、門扉の吊り込みが完了していることを確認してください。

①必要に応じて、ヒンジ位置を調整してください。



チリ寸法：10mm に調整



左右の吊元門柱を均等に調整してください。



調整時、ビスを緩め過ぎないでください。  
※ビスが抜けないように注意してください。



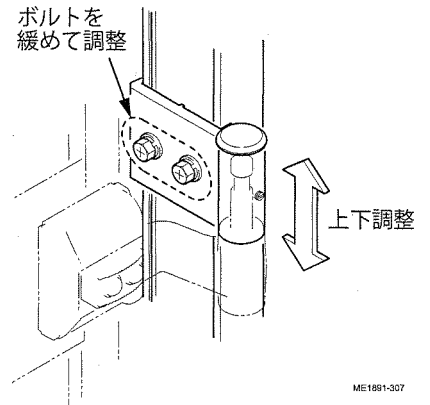
●左右・前後調整は、ヒンジの調整ビスで行います。

●どちらも行う場合は、「左右」→「前後」の順に調整してください。

※先に左右調整で持ち送り位置を決めてから前後調整を行うと、調整が容易です。

#### 上下調整

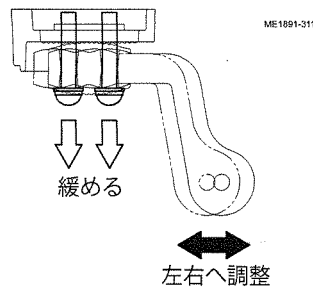
●ヒジツボのボルトを緩めて調整してください。



ME1891-307

#### 左右調整 ※調整巾±7mm

●ヒンジの調整ビスを緩めて調整してください。

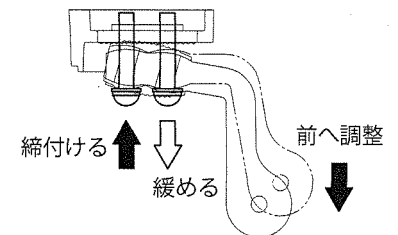


ME1891-311

#### 前後調整 ※調整巾±4mm

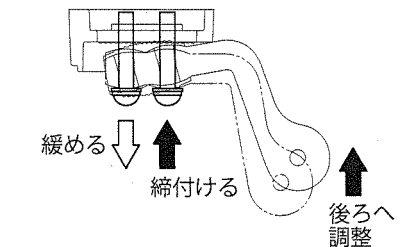
●ヒンジの調整ビスを左右それぞれ締付け、または緩めて調整してください。

##### 前へ調整

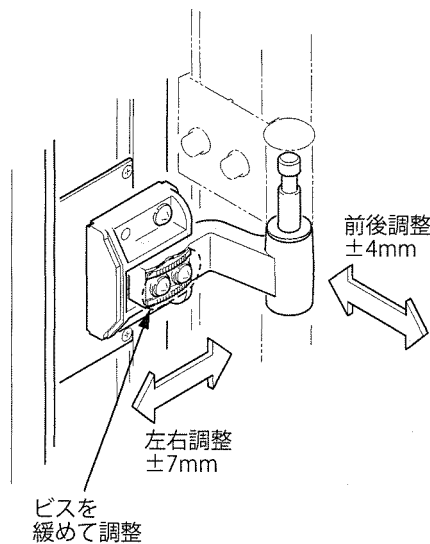


ME1891-308

##### 後ろへ調整



ME1891-310



ME1891-309



- ボルト・ビスを緩める時には、電気ドライバーを使用しないでください。  
※緩め過ぎると、ボルト・ビスが外れてヒンジ位置が移動するなど、調整に支障がでる原因となります。
- ボルト・ビスの締付け時には、電気ドライバーで無理に締付けしないでください。  
※無理に締付けると破損の原因になります。
- 調整後は、各ボルト・ビスを確実に締付けてください。

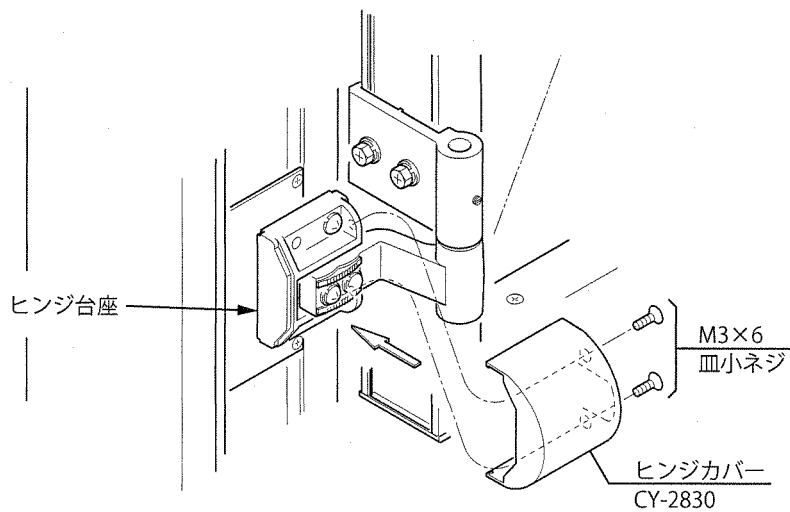


### 3-5 ヒンジカバーの取付け

①カバーをヒンジ台座に取付けてください。



カバーの取付けは、ヒンジの調整後に行ってください。



ME1891-401

# 4

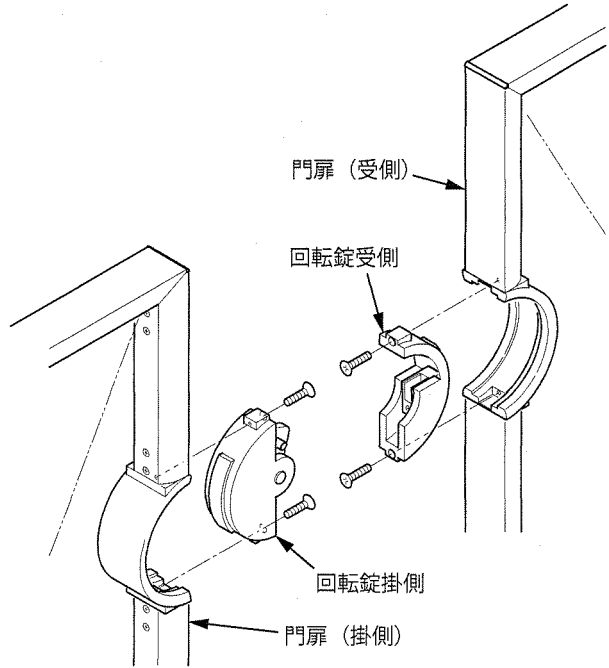
## 吊り込み後の作業

### 4-1 錠の取付け

①錠を門扉に取付けてください。



取付方法については、ナビアスタイル回転錠 [ME-1892] を参照してください。



ME1891-402

### 4-2 戸当りの取付け

①受側となる門扉縦框の下部のビスを取外してください。



取外したビスは、後で使用しますので無くさないでください。

②戸当りキャップを戸当りにはめ込んでください。

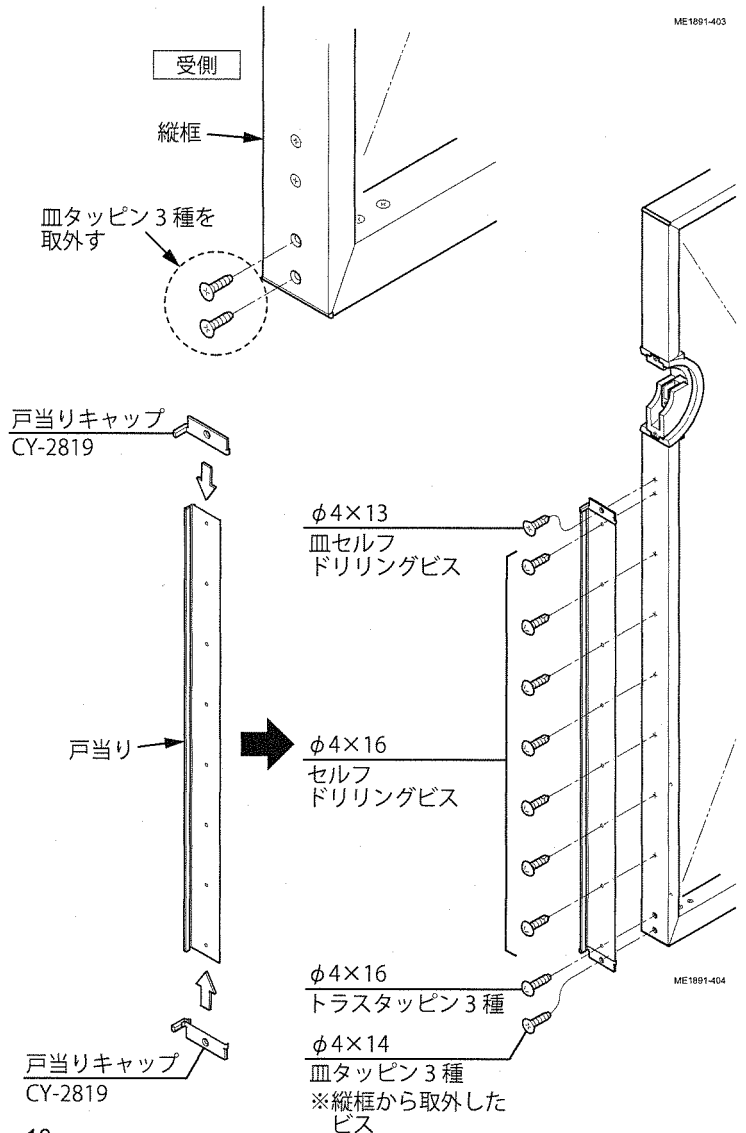
③戸当りを門扉縦框の取付孔に取付けてください。

④戸当りをセルフドリリングビスで門扉に固定してください。

- 下側から順に取付けてください。
  - 戸当りの下段は、縦框の取付孔に固定してください。
- ※この作業を先に行うと、残りのビスの取付位置が決まります。



戸当りキャップ (下部) は、縦框から取外したビスで取付けてください。  
※ビスは1本余ります。



ME1891-403

ME1891-404

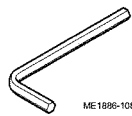
### 4-3 落とし棒の取付け

- ①受側となる門扉の、M4 六角孔付ビスを取外してください。
- ②「手順①」で取外したビスを使用して、落とし棒ガイド取付ブラケットを、門扉に取付けてください。

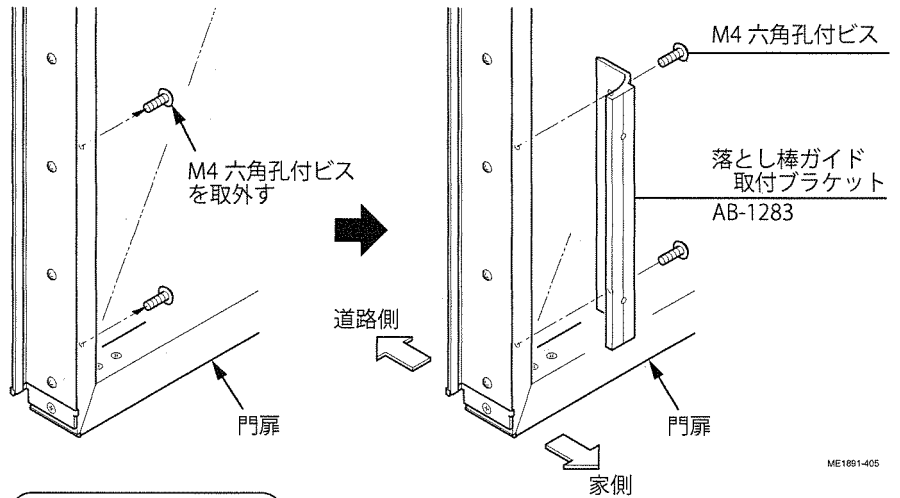


ビスの取付け・取外しには、「落とし棒セット」内のレンチを使用してください。

●六角レンチ

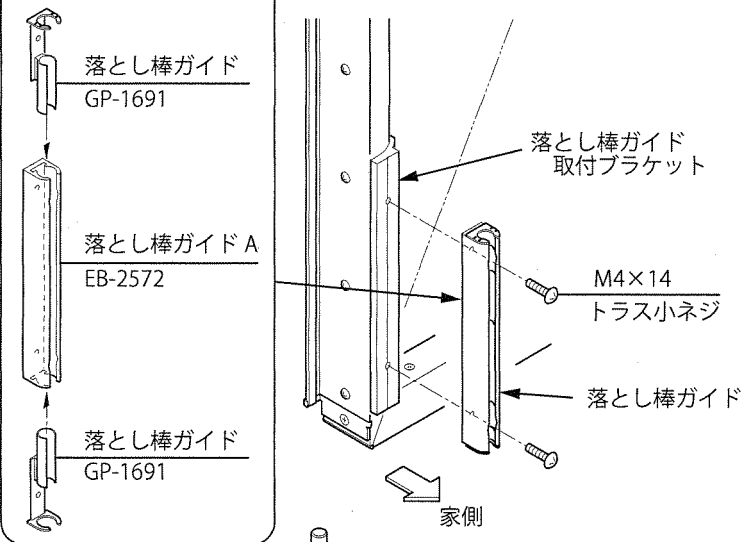


- ③右図を参照して、落とし棒ガイドを組立ててください。
- ④落とし棒ガイドを、落とし棒ガイド取付ブラケットに取付けてください。



ME1891-405

#### ●落とし棒ガイド組立

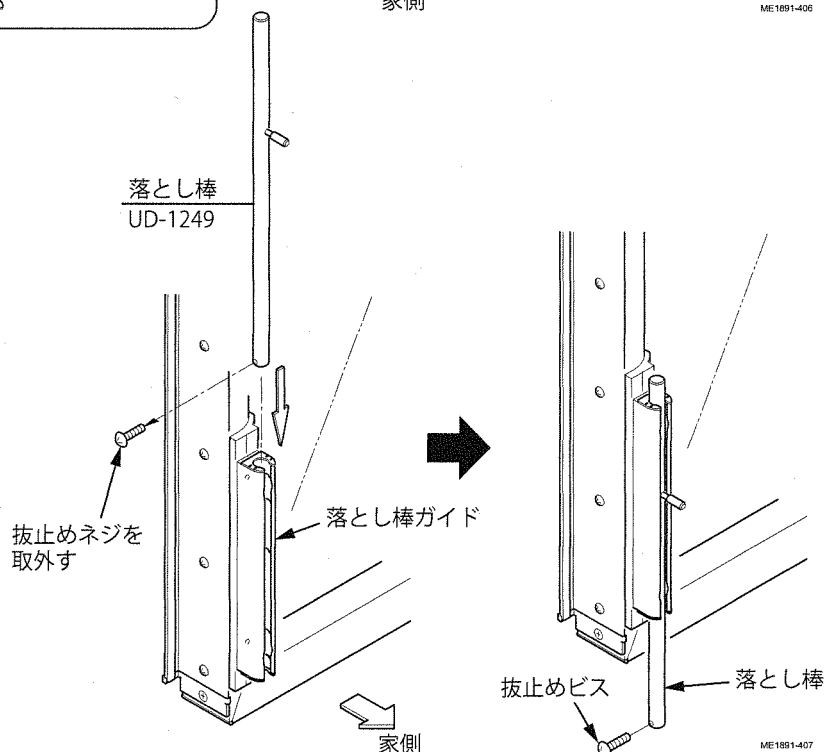


ME1891-406

- ⑤抜止めネジを落とし棒から取外してください。
- ⑥落とし棒を落とし棒ガイドに取付けてください。
- ⑦抜止めネジを、再度落とし棒に取付けてください。



落とし棒の動作がスムーズであるか確認してください。



ME1891-407

## 施工工事店様、販売店様へのお願い


- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年	月	日
施 工 工 事 店	TEL ( )	-	
販 売 店	TEL ( )	-	

### 商品へのお問合せは・・・

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室

 0120-37-2534